



社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりありがとうございました。

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当院では昨年、地域移行機能強化病棟、精神科救急病棟を立ち上げ、目まぐるしく変化の大きい一年でした。不安な点多々あったものの、何とか軌道に乗つつあります。これも皆様のご理解とご協力の賜と、改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年から世界では、イギリスのEU離脱、アメリカではトランプ大統領の誕生、韓国ではパク・クネ大統領のスキャンダル・失脚など、激動の幕開けを感じさせる大きな出来事が相次ぎました。更に日本の周辺には、北朝鮮のキム・ジョンウン、中国の習近平国家主席、ロシアのプーチン大統領が鎮座しており、2017年も日本を取り巻く環境は、極めて厳しい状況と言わざると得ません。

今、世界は大きなパラダイム転換の時期に来ていると言われています。

医療・福祉の分野でも今後大きな激動の波が押し寄せることは必須であり、日本は世界に先駆けて、急速な少子高齢化社会を迎えており、日本がモデルとして世界に発信する役割を担う大きな可能性を秘めていると言われております。

取り巻く環境は厳しく、前途多難な状況ではありますが、今年は「酉年」です。鶏は新たな時代を開く吉祥のシンボルで、黎明を告げる新時代の象徴とも言われています。宮澤賢治の「未来圏の風」が当院の病院名の由来ですが、未来に向かって、皆さんと共に大きく飛翔できることを祈りつつ、新年のご挨拶と致します。本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛みを涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊敬と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます



～デイケア作品『かまくら』～
～せいわ病院ギャラリーに展示～

ごあいさつ



看護部長
古川 厚

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多くの医療、福祉、行政の皆様方のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年の3月から運用しております精神科救急病棟では、多職種協働のクリニカルパスで意見交換を行い、さらにSST、心理教育などでスキルを身につけ入院3カ月以内の地域移行率は60%以上を維持しています。また1日平均病床利用率も90%を超えております。

地域移行機能強化病棟は4月から運用しております。1年以上の長期入院の患者さんが毎月約1名ずつ退院し、現在まで地域移行者は12名です。地域機能強化病棟の施設基準により、来年度12床のベッド削減を予定しています。

今後とも関係機関の皆さまのご協力をいただきながら、積極的に連携して参りたいと思っています。

より一層、地域の皆さまに信頼される病院として職員一同努力してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

ステップアップチャレンジ2016

当法人では、未来の風せいわ病院・介護老人保健施設康楽苑・訪問看護ステーションせいわの智徳会全体で「ステップ・アップ・チャレンジ」という研究発表会を毎年11月頃に開催し、今回で8回目となりました。当法人の基本理念「すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり」をもとに、職員が患者様、利用者様のために日頃の業務を通じて実践した研究、改善をグループ単位で発表します。今回は、17グループが参加しました。各グループのメンバーは日頃の多忙な業務の合間を縫って研究発表会に向け、4月頃から研究活動に取り組みます。発表会で優秀な成績を収めたグループには、優秀賞、奨励賞、審査員特別賞が授与され、今回は以下のグループが受賞されました。



【優秀賞】

部署	研究テーマ
訪問看護ステーション せいわ	「退院時における情報共有の実態調査～情報共有シート作成の取り組み」
栄養管理科	「減塩（Healthy & 塩）活動の取り組み～岩手県脳卒中ワースト1からの脱却をめざして栄養管理科からの発信」

【奨励賞】

部署	研究テーマ
外来	「プロセスレコードから見てきたもの～外来看護師の電話対応にて」
康楽苑 認知症家族支援委員会	「認知症カフェ結の評価と今後の課題～半構造化面接を行って見てきたこと」
B病棟	「アルツハイマー型認知症患者に対する「棒付き飴」を使用した訓練の効果」

【審査員特別賞】

部署	研究テーマ
C2病棟	「地域移行機能強化病棟移行後の家族の意識変化」

日本精神障害者リハビリテーション学会参加報告



主任看護師
岩間 仁

この度、11月30日～12月2日にかけて開催された第24回日本精神障害者リハビリテーション学会長野大会に参加しました。学会テーマである「くらしとかつどうを支えるリハビリテーション」として、大会長である松本市の城西病院理事長関健先生より、現在の精神障がい者の現状や課題・展望、城西病院グループの施設や支援内容の紹介などがありました。リハビリテーション領域では、患者さんの障害を能力欠落と考えるのではなく、『残存能力』として焦点を当て暮らしの生活障害をじっくり考える事ではじめて診断できるとの内容が印象的でした。

私達は「長期入院患者の地域定着への援助～買物支援と休息入院～」と題して、20年余りの社会的入院の影響により社会生活スキルが低下していた患者さんがパンションへの退院を通して、実生活を見据えた関わりと楽しんで生活していけるサービスの提示・継続して患者さん自らが選択できるように支援した事例をポスター発表しました。たくさんの方の質問や意見をいただく事でより学びを深める事ができました。今後も「その人らしい生活」を実現できるようにチームとして支援し続け、共に成長していきたいと思えます。



主任精神保健福祉士
木村 歩美

11月30日～12月2日、日本精神障害者リハビリテーション学会長野大会で、『「地域移行希望調査」に基づく退院意欲・意識変化についての考察』と題し、今年度から新設した「地域移行機能強化病棟」の取り組みと、当事者・家族等の意識変化に焦点を当てた内容で発表を行いました。1年以上の長期入院者に個別面談・訓練等の継続的かつ活発な退院支援を続けた結果、ご本人も「退院を自分のこと」として考え、退院後の生活不安を具体的に想起し、より現実的な退院先を考え退院意欲向上につながったこと、さらに、家族・支援者とも意識・行動変化が見られ、よりよい支援に繋がったことを報告しました。この病棟設置が全国的にも先駆的取組であったこともあり、多数の質問が寄せられ、そこから新たなネットワークも産出されました。

今後、さらに地域移行が円滑に進み、取組が社会全体に広がっていくこと期待する学会であったと感じました。

平成28年度地域医療連携室相談状況

関係機関の皆さまにはいつも大変お世話になっています。

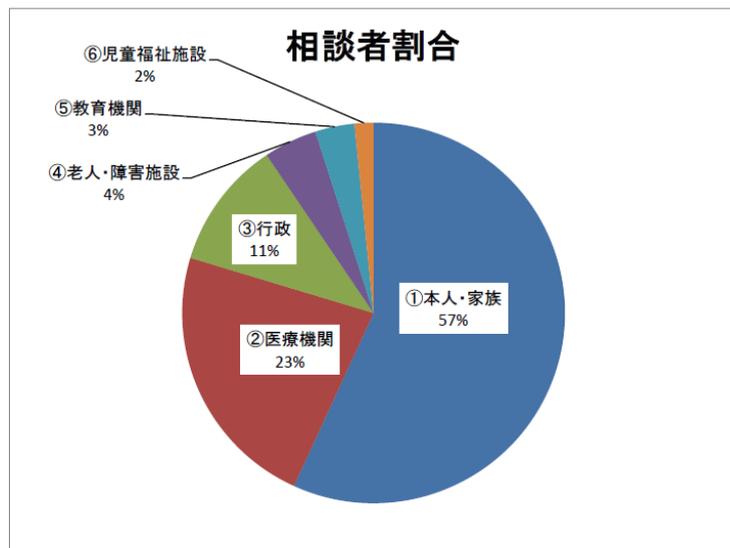
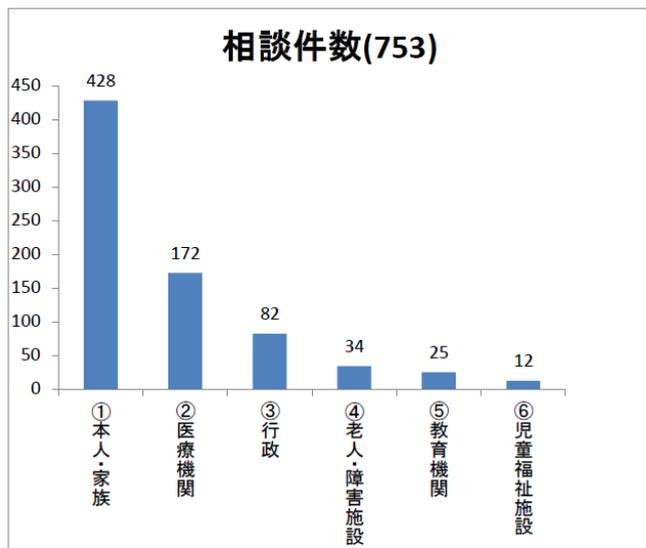
今年度12月までの相談件数は下記の通りです。

当院への受診・入院相談は本人・家族に次いで、医療機関、行政の皆さまからの相談を沢山いただいています。

月平均84件の相談になっており、新患受診予約まで約2ヶ月の待機をお願いしています。

行政機関等から急を要するものについては出来る限りの調整を行っていますが、お受けいたしかねる場合もあります。ご理解いただければ幸いです。

今後とも受診入院相談は、地域医療連携室にお願いします。



～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間

平日：9:00～16:00

土曜：9:00～12:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室 外来師長 砂 とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<http://www.i-seiwa.com/chikiiryorenkei.html>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	菊地医師	八重樫医師	田嶋医師	佐々木医師 石川医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 八重樫医師
再診担当	菊地医師	田嶋医師 智田医師	佐々木医師 遠藤医師	智田医師	石川医師 八重樫医師	第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師

診療時間

月曜日～金曜日	9:00～17:00
土曜日	9:00～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<http://www.i-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又はバスセンター(構内3番)より乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



車

- 盛岡駅から車で20分
(国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側)
 - 東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
(県道36号・国道396号経由 同上)
- ※無料駐車場完備